

ながれやま 博物館だより

第1号（令和4年4月／年2回発行）

博物館から

●「ながれやま博物館だより」の発行がはじまります

「ながれやま博物館だより」では、流山市立博物館の展示会やイベントの告知や報告、展示資料や新着資料の紹介、市内での発掘調査の情報などを発信していきます。発行は4月と12月の年2回です。配布場所は博物館のほか、図書館・公民館・おおたかの森観光情報センターなどです。バックナンバーは博物館ホームページで公開します。

「ながれやま博物館だより」をチェックして、ぜひ博物館をご利用ください！

● 令和4(2022)年度 博物館の講座

詳細は広報ながれやま、博物館ホームページ等でご確認のうえ、お申込みください。

寺子屋講座

4/16	くずし字超入門—ひらがな編—
5/21	野々下貝塚を歩く
6/18	考古学って何だろう？
7/16	歴史街歩き(廃線跡と流鉄車庫見学)
8/6	地図で見るおおたかの森の移り変わり
9/17	古文書講座入門
10/15	歴史街歩き(利根運河・深井地区)
11/19	歴史街歩き(平和台・鰯ヶ崎の景観と文化財)
12/17	出土品の整理作業をやってみよう
1/21	埴輪について学ぼう
2/18	貝塚について考えてみよう①
3/18	貝塚について考えてみよう②

古文書講座

11月	前期
2月	後期

子ども教室

5/5	勾玉を作ろう！
5/7	土器の拓本で葉を作ろう！
6/4	草花あそびをしてみよう！
7/2	土器を洗ってみよう！
7/23	ニイニイゼミの羽化を観察しよう！
8/3	みりん学講座
8/19	鏡を作ってみよう！
8/26	貝アクセサリーを作ろう！
9/17	甲冑を着てみよう！
11/5	煎茶教室
12/3	木の実工作
12/18	昔の印刷機で年賀状を作ろう！
2/4	勾玉を作ろう！
3月上旬	茶道教室

※日程・内容は変更になる場合があります。

展示会情報

● 利根運河通水 130 周年記念展 We Love 利根運河～歴史と自然と友の会のあゆみ～

展示室では 5 月 8 日まで、流山市立博物館友の会主催、利根運河の生態系を守る会、東葛自然と文化研究所と共催で企画展が開催中です。①自然、②文化財、③これまでの研究、④運河のあれこれの 4 つのテーマで運河の魅力に迫ります。 (北澤滋)

● 企画展 流山小学校—地域とともに 150 年—(仮)

★会期 7 月 16 日(土)～11 月 13 日(日)

令和 4 年(2022)は流山小学校創立 150 年の年にあたります。明治 5 年(1872)に学制が發布され、流山 2 丁目にある常与寺に教員を養成するための学校(印旛官員共立学舎)が開設されました。これに付属する初等教育の学校(流山学校)として開設されたのが流山小学校の始まりです。今回の企画展では、流山小学校の歴史をテーマとして学校生活に関わる資料などを取り上げます。運動会、修学旅行等の行事や時代によって変化していく学校の様子が見える資料のほか、学区内の家に残されていた資料や広報ながれやまに掲載された流山小学校に関する記事から、地域とともにあった流山小学校の様子を紹介します。 (松本武之)

文化財紹介

● 新指定の文化財 —旧割烹新川屋本館—



きゅうかつぼうしんかわ や ほんかん
令和 4 年 1 月 1 日付けで旧割烹新川屋本館(現ブラッスリーしんかわ)が市指定有形文化財に指定されました。旧割烹新川屋本館は、昭和 8 年に建築され、17 年に現在の場所に曳家されています。数度にわたる増改築により、建物の外観は大きく変わっていますが、建物内部は建築当初の風情を残しており、利根運河に船が航行していた頃からの建造物として評価され、今回指定の運びとなりました。

(北澤滋)

● 鰯ヶ崎三本松古墳の碑が鰯ヶ崎4号公園に

ひれ が さきさんぼんまつ こ ぶん ひ
かつて鰯ヶ崎三本松古墳の上に建っていた石碑が、鰯ヶ崎・思井地区の区画整理事業で整備された鰯ヶ崎 4 号公園に戻ってきました。石碑には文化財保護の精神が書かれた文が刻まれ、造立に有名な書道家や儒学者、石工が関わっていたことから市指定有形文化財に指定されています。 (北澤滋)



市史編さん担当から

●「市史編さん」はどんな仕事？

博物館では市史編さん業務も行っています。では、「市史編さん」といわれて、どんなことをしているのか、みなさんイメージがわくでしょうか。

「市史編さん」とは、大雑把に言うと、「流山について」を調べ、まとめ、皆さんに知ってもらう仕事です。大昔から現代まで、歴史だけでなく、市勢、民俗、自然、文化財など、ジャンルを問わず流山について調べ、まとめています。博物館や図書館で『流山市史』や『流山市史研究』という本を見たことがあるでしょうか。これらは、市史編さん担当が流山について調べた結果をまとめ、刊行したもので、皆

さんに流山について広く知っていただくために出版しています。令和4年3月には『流山市史研究』の最新号である第24号が刊行されました（博物館で販売中）。（上條静香）



近年の市史刊行物

発掘現場から

● 発掘調査速報 下花輪林下遺跡 — しもはなわはやしした いせき —

令和3年度の発掘調査は、個人住宅や幼稚園建設など民間開発に伴う発掘調査を中心に、10遺跡16地点で実施しました。その中で特に興味深い成果があったものを紹介します。

今回紹介する下花輪林下遺跡は、花輪城址公園から北に350mほど離れた台地上に所在します。調査の結果、弥生時代末から古墳時代前期にかけての環濠集落が見つかりました。環濠は敵の侵入を防ぐために築かれた溝で、流山では加村台遺跡に次ぐ2例目の発見となります。下花



輪林下遺跡の環濠は、北千葉浄水場に臨む崖地に沿うように、幅約2m、深さ約1.5mのV字状の溝が約25mの長さで見つかりました。その内側には等間隔に並んだ同時期の竪穴住居が十数軒発見されました。環濠集落の大部分は未調査区としてまだ畑の下に埋まっていることから、遺跡の規模や環濠の広がりなど全体像はわかりません。しかし、同時期の環濠集落は県内では数遺跡しか調査事例がないことから、まさに貴重な発見と言えます。（宮川博司）

● 千葉県の市街鳥瞰図について学びました

3月21日（月・祝）、寺子屋講座として「千葉県における市街鳥瞰図について―松井天山を中心に―」が行われました。今回は講師に筑波大学教授の中西僚太郎さんを迎え、上空から斜めに見下ろすように描かれた絵地図「鳥瞰図」について学びました。



事例として取り上げられた松井天山は明治から昭和戦前期にかけて活動し、晩年に千葉県に住んで県内各地の市街鳥瞰図を制作しました。松井天山の市街鳥瞰図は商工案内図に近いもので、簡略に描きながらも建物の形などに写実性を保っていることが特徴とのこと。スライドで実際に鳥瞰図を見ながら学びました。

（伊藤智比古）

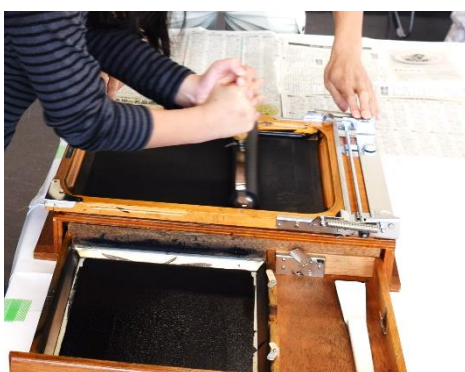
● 子ども教室でガリ版印刷を体験！

2月27日（日）、子ども教室「昔の印刷機で自分だけのカードを作ろう！」が行われました。使用したのは「ガリ版」と呼ばれる印刷機（謄写版）です。この呼び名はロウ原紙を鉄筆とヤスリ板でけずって製版するときの音からつけられたものです。

事前に作成した原稿を持ち寄り、原稿をロウ原紙に転写したのち、製版・印刷を行いました。

鉄筆は力加減が難しく、ロウ原紙に穴が開いてしまうこともありましたが、参加者全員が作品を完成させることができました。

（伊藤智比古）



ながれやま博物館だより 第1号

発行日 令和4年4月1日

編集・発行 流山市立博物館

〒270-0176 流山市加一丁目 1225-6

お問い合わせ ☎04-7159-3434

ホームページ <https://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/1001780/1001785/index.html>



ホームページ



Facebook